

科目番号	科目名			英語名	
HE30021	臨床薬理学			Clinical Pharmacology	
標準履修年次	単位数	開設学期	曜日	時限	使用教室
3年	1単位	春学期A B	月曜日	3時限	4 B 1 1 5
担当教員（研究室・連絡先・オフィスアワー）					
<p>大林 典彦（健康医科学イノベーション棟 304 号室、TEL：3287、オフィスアワー：随時） 船越 祐司（健康医科学イノベーション棟 304 号室、TEL：3115、オフィスアワー：随時）</p>					
学習目標					
臨床で実際に用いられる薬物について、それらの作用機序を通して様々な生体の機能を学ぶとともに、薬物の特性や副作用、有害作用、有効性を学ぶ。また薬物治療の概念を通して主要な疾患の病態生理を理解する。					
使用言語（ <input checked="" type="checkbox"/> してください）： <input checked="" type="checkbox"/> 日本語・ <input type="checkbox"/> 英語・ <input type="checkbox"/> バイリンガル					
	日程	担当教員	授業概要		
1	4/16	大林 典彦	オリエンテーション		
2	4/23	大林 典彦	生理活性物質とその受容体・シグナル伝達		
3	5/7	船越 祐司	ホルモンと代謝性疾患治療薬		
4	5/14	船越 祐司	薬の作用と薬物動態（Pharmacokinetics）		
5	5/21	大林 典彦	自律神経系の薬理		
6	5/28	大林 典彦	中枢神経系の薬理		
7	6/4	大林 典彦	血液・循環器系の薬理		
8	6/11	大林 典彦	泌尿・生殖系の薬理		
9	6/18	船越 祐司	細胞骨格と骨格筋		
10	6/25	船越 祐司	平滑筋と心筋の薬理		
単位取得要件	出席および期末試験評価C以上				
使用教科書・教材	プリント、医系薬理学（中外医学社）、カッティング薬理学（丸善（株）出版事業部）				
成績評価	出席および期末試験				
備考： 自発的に学習（予習と復習）を行い、講義を有効に受講することを期待する。					